

令和元年度 山梨県立吉田高等学校 学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことが出来る生徒を育成する
-----------	--

山梨県立吉田高等学校 校長 高保裕樹

本年度の重点目標	1 生徒の知識活用能力を高める
	2 生徒の主体性を高める
	3 生徒の社会性を養う

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標		年度末評価(2月6日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	生徒の知識活用能力を高める	※1 吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識し、生徒の主体性をさらに育成する授業を実施する。	外部アンケート等
		評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。	外部アンケート等
		授業と連動した課題を設定し、知識の活用・定着を図る。	外部アンケート等
2	生徒の主体性を高める	常に「分析し、思考し、創造し、発信する」機会の提供を意識した指導を行う。	外部アンケート等
		身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動することができる生徒像を意識した指導を行う。	外部アンケート等
		自分の言動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う。	外部アンケート等
3	生徒の社会性を養う	周囲との関わりの中で、自己有用感を養う。	外部アンケート等
		社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う。	外部アンケート等
		※2 ESDパスポートを活用し、ボランティア精神を養う。	外部アンケート等

学校関係者評価	
実施日 (令和2年2月14日)	
評価	意見・要望等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のほぼ全員が、良い授業をしようと考えている様子が窺えて、授業改善が図られている。引き続き取り組んでいただきたい。 ・吉高GPについて、生徒の9割程度が意識できているのは素晴らしい。8つの力は、これからの社会を生き抜く上で大切な力である。取り組みも3年目となり、評価も厳しめになってきている面もあるが、成果は確実に表れている。引き続きご指導をお願いしたい。 ・吉高GPの中でも「発信力」は、さらに改善が必要かと思われる。日常の授業において生徒が自分の考えを分かりやすく述べるといった機会を増やすことが必要である。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言動に責任をもっている生徒は9割程度であり、たいへん素晴らしい。 ・「言われてやる」のではなく「言われなくてもやる」という、アクティブな学習姿勢をもたせることに苦勞しているようである。 ・生徒一人ひとりにどれくらい寄り添って、それぞれの興味と関心や問題意識を引き出すかが大切だと考える。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々との関わりに対する意識の向上は、その目的や必要性を具体的に生徒に伝えることで行動に繋げていけると思う。 ・ボランティア活動への意識向上も、活動の必要性について納得させることが重要かと考える。実際に参加した時の充実感や達成感を得られる活動を、学校としても推奨できれば良いかと考える。 ・ボランティアに関しては、貴校の結果は高校の平均的な数字よりも高いのではないかとと思う。しかし、さらに達成率を上げる努力は必要である。

※1 吉田高校グラデュエーション・ポリシー(吉高GP) ... 本校3年間を通して8つの力(自己肯定力・傾聴力・分析力・思考力・発信力・想像力・創造力・行動力)を身につけること。
 ※2 ESDパスポート ... ユネスコ協会ESDパスポート